ICT の活用

愛知県高等学校数学研究会
数 学 科 情 報 委 員 会

１人１台タブレットを使って生徒の現状を把握する

指名制や挙手制では、なかなか生徒は本音を言わないし、考えを拾える生徒数にも限界がある

この課題を解決するために、１人１台タブレットは使えるな、と実感しています。私は全授業でタブレット端末を使っていますが、今では生徒の考えがわかり、生徒の実態も少しずつつかめるようになってきました。授業は一方通行にならなくなったなと感じています。以下、ほんの少し、実践内容を紹介します。

〇使用アプリ：Metamoji Classroom

以前はロイロノートを使っていましたが、ある学校の授業発表会でこのアプリを知り、その使いやすさから使わせてもらいました。ロイロノートと決定的に違うのは、“リアルタイムに生徒の考えを知ることができる”ことです。ロイロノートは、提出箱に提出して初めて生徒の状況が分かります。また、ロイロノートは画面配信中、生徒は画面を見ることしかできないのに対し、Metamoji Classroom は画面配信中でも生徒はその画面に書き込んでメモすることができます。とても便利です。

１　準備

スタディエイドなどで作ったファイルを PDF 化して、Metamoji Classroom にアップロードします。

２　授業

(1) 生徒はアップロードした PDF ファイルを開きます。初期設定で、授業クラスのフォルダを作成してあり、そのフォルダは担当教員と、そのクラスの生徒が使える仕様になっています。つまり、そのフォルダ内に PDF をアップロードしておけば、ロイロノートみたいに送らなくても生徒はそのファイルを利用することができます。

(2) 教員の指示に従い、生徒はファイルにある問題に取り組みます。

左のモニタ画面で生徒の解答の様子をリアルタイムで見られる。これを見て、補足説明が必要かどうかを決めている。

また、気になった生徒はコメントを書き、オンライン上でのやり取りもしている。